

開倫塾に在籍する間に、開倫塾の塾生として身につけてほしいこととは？

ー「深い理解」、「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ことー

開倫塾

塾長 林明夫

＜開倫塾では、塾ですので、たとえどんなに短い期間であっても、開倫塾で学ぶ全ての皆様を、親しみをこめて、「塾生」とお呼びします。よろしくお願いいたします＞

Q 1：開倫塾に在籍している間に身につけてほしい能力は何ですか。

A：(1) 第一は、「自覚をもって学ぶ力」です。

- ①「自分のしたいこと」(どのような進路を取りたいのや、第一志望校を考える)
- ②「自分のできること」(今の学力、成績を知る。得意分野、苦手分野をしっかりと認識)
- ③「今しなければならないこと」(それでは、これから、何を、どう学べばよいかを考える)

(2) 第二は、「自分から進んで勉強する」です。

- ①「勉強は、人から言われてやるものではありません」
- ②「自分から進んで行うものです」
- ③「主体的に学ぶ力」を身につけましょう。

第三は、「効果の上がる学習方法」を身につける力です。

- ①開倫塾では、学習を、「理解」「定着」「応用」の「3つの段階」に分け、「学習の3段階理論」として、具体的にお示ししています。
- ②「学習の3段階理論」を、開倫塾に在籍中に、少しでも身につけ、ご活用ください。
- ③「学び方を学ぶ力」を、少しずつでも、身につけてくださいね。

第四は、「長時間自己学習能力」です、「長い時間自分で学ぶ力」です。

- ①学年が上がっていくに従い、学ぶ内容が増え、また、難しくなりますので、「ノート整理」や「復習」、「定着」や「問題練習」、「予習」や「自由研究」、「新聞」を読み、「読書」をするのに、時間がかかります。

②ですから、「学習時間を確保する力」が大切になります。

③同時に、せっかく確保した学習時間ですから、「集中して勉強する力」も大切です。

○「長時間、自分ひとりで勉強すること」や「一人で集中して勉強すること」を妨げる第一は、「スマホ」のようです。「スマホに接する時間を最小限にする」「勉強時間中はスマホを別の部屋に置いておくこと」「スマホでのやり取りは、1日、数回にする」ことを、心掛ける。

(3) 第三は、「読解力」です。

①「普段の教科の勉強」はもちろん、「定期試験」「3大検定」「入学試験」などの試験勉強では、「テキスト」や「教材」「問題集」「試験問題」を、「正確・分析的に読み解く力」、「読解力」が求められます。また、「定期試験」「3大検定」「入学試験」では、「試験時間内」に、「問題文」や「設問」「選択肢」などを、最後まで「読み解き、正解」を導くことができる「読解力」が求められます。

②この「読解力」身につけるために、開倫塾では、「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しむ力の育成を行っています。

③「意味のよくわからないことば」や、「読み方がわからないことば」に出会ったら、「気持ちが悪い」と考え、必ず、「辞書」を用いて調べる。「辞書で調べたこと」は、ノートなどに必ず書き取る。そして、「暗唱」と「書き取り練習」に励み、全部覚える。「ことばは力」「語彙力は力」です。

④「新聞」を毎日30分以上、1面から舐(な)めるように読み、「自分で考える力」と「批判的思考能力」を、身につける。気になる記事は、切り取り、スクラップブックをつくる。

⑤毎日、30分以上、「読書」に励む。学校の教科書に載っている作品や作家の本、図書館にある本、先生や家の人のおすすめ本を、時間をかけ、一語一語、かみしめながら読む。作者との「時空を超えた対話」を心がける。読んでいて感じたことを、ノートにまとめながら読むのも一手。「書き抜き読書ノート」をつくる。

⑥学校図書館には、毎日出かける。公共図書館や書店、古書店には、週何回か出かけ、何が、どこに、あるか知りつくし、「新聞」を読んだり、「読書」や「調べ学習」「探究型学習」に役立てる。「図書館・書店」を「自分の居場所(サードプレイス)」の一つにする。(ちなみに、ファーストプレイスは、生活の場・家庭。セカンドプレイスは、学校・職場)。

Q 2 : 開倫塾の「塾生目標」は何ですか。

A : 3つあります

(1) 第一は、「学校成績（校内順位）大幅アップ」です。

○「開倫塾は、全教科責任指導」です。必ず、「全教科、受講をして下さい」。

①このためには「学校教科書」「学校教材」「学校問題集」「学校の授業ノート」の内容を、「予習」や「授業時間中」「授業後の復習」で、十分に「復習」し、スミからスミまでよく「理解」することが第一。

②よく「理解」したら、「音読練習・暗唱」「書き取り練習・暗記」「計算・問題練習」を繰り返し、スミからスミまで、「全部覚えること」。そして、「定期試験」で全教科、満点を目指すことです。

③全教科の提出物は、提出期限前に、ひとつ残らず、全部、提出。

(2) 第二は「3 大検定合格」です。英検、漢検、数学・算数検定の「個人別年間受勲予定表」に沿い、試験日の「半年前から」準備。計画的に準備し、計画通り合格する。

○開倫塾は、3 大検定の対策授業を行います、必ず、対策授業を受けてください。

(3) 第三は、「トップ校・難関校を含め、第一志望校合格」です。

○「開倫塾は、試験前日まで、全教科責任指導」です「必ず、試験前日まで、全教科、全プログラム、受講してください」。

①開倫塾の「テキスト」は、ドンドン、ノートに「予習」。何がわからないかを、明確にして、授業に臨んでください」

②「授業終了後」は、「必ず、復習」。「復習」とは、もう一度、テキストを読み直す、もう一度、全部の問題を解き直すことです。

「読み方や、意味の、意味の分からない語句」があったら、「辞書」を用いて徹底的に調べることも大事な「復習」。

③なぜそのような考え方をするのか、なぜそのような解答になるのかわからない内容や、問題があったら、まずは、自分で、何日間か、徹底的に調べ、考える。それでもわからなければ、学校や開倫塾の先生方にご質問ください。

④よく内容が「理解」できたら、「定着のための 3 大練習」を繰り返し、スミからスミまで全部覚える。

- ・スラスラよく読めるようになるまで「音読練習・暗唱」（英語は「発音練習・暗唱」）
- ・正確に書けるようになるまで「書き取り練習・暗記」
- ・条件反射で正解が出るようになるまで「計算・問題練習」

○「定着のための3大練習は、不可能を可能にする」

(4) 以上の実現のため、開倫塾では「全教科責任指導」を徹底します。

セミナー指導、個別指導に加え、オンライン指導も最大活用し、「全教科責任指導」を行います。それぞれの「特徴」を十分ご理解の上、開倫塾をご活用ください。

Q 3 : 最後に、開倫塾の教育目標は何ですか。

A : (1) 「開倫塾の教育目標」は4つあります。

第一は「高い倫理」(自律的に行動する力を身につけよう)。

第二は「高い学力」(知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力を身につけよう)

第三は「高い国際理解」(多様な集団で交流する力を身につけよう)

第四は「自己学習能力の育成」(学び方を学ぶ力を身につけよう)

(2) 開倫塾が目指すのは、「深い理解」です。

「深い理解」とは、「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できること)」

○学校や開倫塾で学んだこと、社会に出て企業や団体、社会的活動、日々の生活など、ありとあらゆる機会に学んだことを「自分のことばでいえる(表現・説明できる)」、「深い理解」を塾生の皆様には、一生かけて、目指していただきたく希望します。

(3) 「積小為大」です。

「深い理解」を積み重ね、学べば学ぶほど、

①「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。

②「正常に機能する社会の形成に貢献」できます。

③「よく生きること」ができると考えます。

《それでは、いっしょにがんばりましょう!!》